

## 第6学年 算数科学習モデル指導案

1. 単元名 「比例をくわしく調べよう」
2. 本時について

(1) 本時の目標

○比例の性質を活用し、身近な問題を解決する。

(2) 本時の展開(最後の15分の展開)

分	教師の支援	学習活動												
3	<p>○問題場面を知る。</p> <p>T：みんなには、それぞれ将来の夢がありますね。最近はお菓子を作るパティシエも人気です。今日は、その中でも特別に、みんなにアイスクリーム屋さんの店長さんになってもらいます。</p>	<p>・「自分が店長として働いたら」という視点をもたせる。</p>												
2	<p>☆ワークシート「比例や反比例を使う生活の場面を考えよう！」を配布し、伴って変化する量を捉える。</p>													
2	<p>○課題を解決する。</p> <p>T：これまでに学習したことを生かして、課題を解決しましょう。</p> <p>C：表を作ってみよう。</p>	<p>C：①の列も②の列も、時間が2倍になると、買える人数も2倍になっているね。</p> <p>C：これが学習してきた比例の関係だね。</p>												
2	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">時間</th> <th style="padding: 5px;">30</th> <th style="padding: 5px;">60</th> <th style="padding: 5px;">90</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">①人数</td> <td style="padding: 5px;">2</td> <td style="padding: 5px;">4</td> <td style="padding: 5px;">6</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">②人数</td> <td style="padding: 5px;">5</td> <td style="padding: 5px;">10</td> <td style="padding: 5px;">15</td> </tr> </tbody> </table>	時間	30	60	90	①人数	2	4	6	②人数	5	10	15	<p>C：①の列も②の列も、時間が2倍になると、買える人数も2倍になっているね。</p> <p>C：これが学習してきた比例の関係だね。</p>
時間	30	60	90											
①人数	2	4	6											
②人数	5	10	15											
2	<p>C：お店の人は、一人分作るのにどのくらいかかっているのか調べよう</p> <p>C：①は2人で30秒だから、3倍の6人分作るには、<math>30 \times 3</math>をすればよさそうだ。</p> <p>○全体で話し合う。</p> <p>○行列のほかにも、身の回りで比例や反比例が使われている例を紹介する。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>	<p>・困っている児童には、伴って変わるのは時間と人数であることを確認する。</p> <p>・友だちの考えを聞くときには、自分の考えと似ているところ、違っているところなどを考えながら聞くようにする。</p>												
1	<p>☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。</p>													
2	<p>比例や反比例は、身近なところにたくさん使われていることがわかりました。比例や反比例の性質を知っていると、便利なこともたくさんありますね。</p> <p>みなさんが大人になって、この問題の店長さんのよう働くことになったときにも比例が使えることがわかりました。実際に、仕事ではどのように使っているのか、紹介します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「もっと知りたい！職業のこと」の話を読む。</p> </div> <p>比例の考え方をを使うと、それぞれの個性に合った作業をすることもできるのですね。みなさんには、比例や反比例を学校の中の勉強だけで終わらせず、周りの人への思いやりにも使える人になってほしいと思います。</p>													

